

静岡県の財政状況

平成26年10月

静岡県

富国有徳の理想郷

しずおか



目 次

[説明資料関連ページ]

<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人口・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)
	平成25年度富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(13)
<静岡県の財政状況>	平成25年度一般会計 歳入決算の状況	4	(23)
	平成26年度一般会計 歳入予算の状況	5	(23)
	一般会計 歳入決算の推移	6	(23)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(23)
	平成25年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	(24)
	平成25年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	(24)
	平成26年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(24)
	平成26年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	(24)
	一般会計 歳出決算の推移	12	(24)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	(24)
	平成25年度 特別会計決算の状況	14	
	平成25年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(25)
	平成25年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(25)
	地方公社の改革計画への取組	17	(26)
	地方公社の決算状況	18	(26)
	静岡県の外郭団体の経営状況	19-20	(27)
	財政の中期見通しと健全化への取組	21-30	
	財政関係指標の推移(普通会計)	31-33	
	平成25年度 静岡県の財務諸表	34-39	
<静岡県の起債運営>	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	40	(29)
	財政5基金の年度末残高の推移	41	
	減債基金への積立ての状況	42	(32)
	プライマリーバランスの推移	43	
	静岡県公募公債の発行状況	44	(33)

静岡県の人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
静岡県人口数(A)	3,793	3,795	3,792	3,797	3,801	3,800	3,792	3,765	3,749	3,735	3,723
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	127,619	127,687	127,768	127,770	127,771	127,692	127,510	128,056	127,799	127,515	127,298
本県シェア(A/B)	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.98	2.97	2.94	2.93	2.93	2.92

※各年度10月1日現在での推計人口（総務省統計局データ）による

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
県内総生産(百万円)	16,366,840	16,534,989	17,043,347	17,291,183	17,168,435	16,384,209	15,314,452	15,765,640	15,564,207	-	-
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	-	-
一人当たり県民所得(千円)	3,308	3,371	3,456	3,499	3,474	3,235	2,970	3,100	3,162	-	-
全国順位	5	4	3	3	3	2	4	3	2	-	-

※各年度の数値は「県民経済計算について（内閣府 経済社会総合研究所）」による

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
静岡県製造品出荷額	159,638	166,998	173,227	182,347	194,103	191,777	150,510	157,931	143,915	157,077	-
全国順位	3	3	3	3	3	3	2	3	4	4	-
全国製造品出荷額	2,737,344	2,839,670	2,958,003	3,146,194	3,367,566	3,355,788	2,652,590	2,891,077	2,765,616	2,887,276	-
本県シェア	5.8	5.9	5.9	5.8	5.8	5.7	5.7	5.5	5.2	5.4	-

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編（概要版）」による

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
県勢基本	静岡県人口数（千人）	3,792	3,765	3,749	3,735	3,723
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率（人） （千人当たり）	1.43	1.54	1.49	1.52	1.53
	全国順位	15	15	17	15	15
経済産業	県内総生産（億円）	153,145	157,656	155,642	158,065	157,449
	全国順位	10	10	10	（速報）	（速報）
	製造品出荷額等（億円）	150,510	157,931	143,915	157,077	—
	全国順位	2	3	4	4	—
	実質経済成長率（％）	△ 7.9	5.5	2.4	0.6	1.5
	全国数値（％）	△ 2.1	3.1	1.8	（速報）	（速報）
	医薬品生産額（億円）	5,575	5,248	5,895	6,462	—
	全国順位	3	2	2	2	—
	医療機器生産額（億円）	1,956	3,069	3,449	3,652	—
	全国順位	1	1	1	1	—
	農業産出額（億円）	2,086	2,123	2,127	2,114	—
	全国順位	16	16	16	16	—
	海面漁業・養殖業生産額 （億円）	558	559	508	588	—
	全国順位	6	6	5	5	—
	ホテル・旅館数	3,681	3,602	3,528	3,464	—
	全国順位	1	1	1	1	—
	企業立地件数	44	41	37	73	77
	全国順位	5	4	3	2	6

区分	項目	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
経済産業	有効求人倍率	0.40	0.52	0.65	0.79	0.90
	全国数値	0.45	0.56	0.68	0.82	0.97
	完全失業率（％）	4.1	3.9	3.6	3.3	3.2
	全国数値	5.1	5.1	4.5	4.3	4.0
教育	大学・短大学生数（人）	38,412	38,371	38,268	38,053	38,254
	全国順位	15	15	16	16	16
	大学・短大等進学率（％）	54.3	54.3	54.1	53.2	53.0
	全国順位	16	19	18	17	15
	図書館数	92	92	95	96	96
	全国順位	—	—	—	—	—
くらし・環境	持ち家率（％）	—	69.3	—	—	—
	全国順位	—	27	—	—	—
	エコアクション21認証登録事業者数（件）	606	760	895	944	976
	全国順位	1	2	1	1	1
健康福祉	国民医療費（千円） （1人当たり）	—	—	276	—	—
	全国順位（昇順）	—	—	8	—	—
	1日平均在院・外来患者数（人） （10万人当たり）	1,649	1,672	1,666	1,652	—
	全国順位（昇順）	3	3	3	3	—
	生活保護率（‰）	4.3	5.0	5.6	—	—
	全国順位（昇順）	7	7	9	—	—
行政	市町村への事務移譲実施数	120	122	128	124	126
	全国順位	1	1	1	1	1

平成25年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線			提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)
国内線	札幌線		145,073	79,676	54.9
		FDA	18,068	13,538	74.9
		ANA	127,005	66,138	52.1
	福岡線	FDA	168,304	111,632	66.3
	鹿児島線	FDA	37,240	24,259	65.1
	沖縄線	ANA	126,653	76,184	60.2
	チャーター便		1,600	1,149	71.8
	国内線計		478,870	292,900	61.2
国際線	ソウル線		178,230	98,669	55.4
		アジアナ航空	96,970	59,105	61.0
		大韓航空	81,260	39,564	48.7
	上海線・武漢線	中国東方航空	39,112	18,911	48.4
	台北線	チャイナ エアライン	65,290	46,374	71.0
	チャーター便		2,333	2,152	92.2
	国際線計		284,965	166,106	58.3
合計			763,835	459,006	60.1

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く。

平成25年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成25年度 決算	平成24年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成25年度	平成24年度
歳 入 決 算 額	1,180,372	1,152,793	27,579	2.4	100.0	100.0
県税	423,214	406,286	16,928	4.2	35.9	35.2
地方消費税清算金	75,378	76,031	△ 653	△ 0.9	6.4	6.6
地方譲与税	60,686	50,750	9,936	19.6	5.1	4.4
市町たばこ税県交付金	94	－	94	皆増	0.1	－
地方特例交付金	1,645	1,666	△ 21	△ 1.3	0.1	0.1
地方交付税	155,506	164,739	△ 9,233	△ 5.6	13.2	14.3
交通安全対策特別交付金	1,302	1,326	△ 24	△ 1.8	0.1	0.1
分担金及び負担金	3,390	5,352	△ 1,962	△ 36.7	0.3	0.5
使用料及び手数料	9,348	9,708	△ 360	△ 3.7	0.9	0.8
国庫支出金	145,462	131,072	14,390	11.0	12.3	11.4
財産収入	3,590	3,505	85	2.4	0.3	0.3
寄附金	15,105	10,807	4,298	39.8	1.2	0.9
繰入金	45,167	46,038	△ 871	△ 1.9	3.8	4.0
繰越金	16,788	14,847	1,941	13.1	1.4	1.3
諸収入	24,788	25,555	△ 767	△ 3.0	2.1	2.2
県債	198,909	205,111	△ 6,202	△ 3.0	16.8	17.8

平成26年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成26年度	平成25年度
歳 出 規 模		1,180,200	1,139,100	41,100	3.6	100.0	100.0
一 般 財 源 等	県税	432,000	404,000	28,000	6.9	36.6	35.5
	地方消費税清算金	94,353	73,101	21,252	29.1	8.0	6.4
	地方譲与税	65,000	54,300	10,700	19.7	5.5	4.8
	地方特例交付金	1,500	1,639	△ 139	△ 8.5	0.1	0.1
	地方交付税	144,500	140,600	3,900	2.8	12.2	12.3
	臨時財政対策債	120,000	136,000	△ 16,000	△ 11.8	10.2	11.9
	その他	27,072	30,132	△ 3,060	△ 10.2	2.3	2.7
	計	884,425	839,772	44,653	5.3	74.9	73.7
特 定 財 源	国庫支出金	133,733	132,618	1,115	0.8	11.3	11.7
	県債	67,161	58,016	9,145	15.8	5.7	5.1
	繰入金	55,318	71,602	△ 16,284	△ 22.7	4.7	6.3
	その他	39,563	37,092	2,471	6.7	3.4	3.2
	計	295,775	299,328	△ 3,553	△ 1.2	25.1	26.3

一般会計 歳入決算の推移

(単位: 億円・%)

区 分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
県税	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,320
構成比	35.0	33.9	34.1	35.9	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.6	35.2	35.9	36.6
地方交付税	2,141	2,070	2,050	1,918	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,640	1,647	1,555	1,445
構成比	15.6	15.0	16.7	16.2	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	14.3	14.3	13.2	12.2
国庫支出金	2,225	2,311	2,061	1,901	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,365	1,311	1,455	1,338
構成比	16.2	16.8	16.8	16.0	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	11.9	11.4	12.3	11.3
県債	1,804	2,102	1,941	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,872
通常債	1,804	1,930	1,524	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	657	716	781	692	634
特例債	—	172	417	737	526	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,200
病院債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	22	15	11	13	38
構成比	13.2	15.2	15.9	15.7	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	17.0	17.8	16.8	15.9
その他	2,740	2,637	2,008	1,921	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,562	2,456	2,573	2,827
構成比	20.0	19.1	16.5	16.2	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	22.2	21.3	21.8	24.0
計	13,714	13,796	12,236	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,802

※平成26年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
個人県民税	722	715	699	673	677	724	812	1,460	1,510	1,492	1,344	1,324	1,371	1,468	1,464
構成比	15.0	15.3	16.7	15.8	15.5	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	33.5	33.3	33.7	34.7	33.9
法人二税	1,617	1,541	1,343	1,534	1,620	1,818	2,046	2,184	1,988	885	893	913	953	1,049	1,089
構成比	33.7	33.0	32.2	36.1	37.0	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	22.2	22.9	23.5	24.8	25.2
その他	2,465	2,420	2,134	2,047	2,080	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,780	1,742	1,739	1,715	1,767
構成比	51.3	51.7	51.1	48.1	47.5	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	44.3	43.8	42.8	40.5	40.9
計	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,320

(参考)

地方法人 特別譲与税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195	431	463	478	579	622
合計	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,373	4,448	4,442	4,541	4,811	4,942

※平成26年度は当初予算

平成25年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成25年度 決算	平成24年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成25年度	平成24年度
歳 出 決 算 額		1,157,359	1,136,004	21,355	1.9	100.0	100.0
義 務 的 経 費	人件費	356,086	368,292	△ 12,206	△ 3.3	30.8	32.4
	扶助費	88,801	85,085	3,716	4.4	7.7	7.5
	公債費	177,603	171,434	6,169	3.6	15.3	15.1
	災害復旧費	3,871	7,651	△ 3,780	△ 49.4	0.3	0.7
	計	626,361	632,462	△ 6,101	△ 1.0	54.1	55.7
義 務 的 経 費 以 外	投資的経費	191,152	168,772	22,380	13.3	16.5	14.9
	公共・直轄	102,441	93,536	8,905	9.5	8.8	8.3
	単独等	88,711	75,236	13,475	17.9	7.7	6.6
	その他の経費	339,846	334,770	5,076	1.5	29.4	29.4
	計	530,998	503,542	27,456	5.5	45.9	44.3

平成25年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成25年度 決算	平成24年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成25年度	平成24年度
議会費	1,858	1,933	△ 75	△ 3.9	0.2	0.2
経営管理費	36,353	34,588	1,765	5.1	3.1	3.0
企画広報費	19,387	8,408	10,979	130.6	1.7	0.7
くらし・環境費	8,477	8,463	14	0.2	0.7	0.8
文化・観光費	13,378	9,527	3,851	40.4	1.2	0.8
健康福祉費	194,383	202,827	△ 8,444	△ 4.2	16.8	17.9
経済産業費	40,398	40,218	180	0.4	3.5	3.5
交通基盤費	162,606	155,314	7,292	4.7	14.0	13.7
危機管理費	17,998	8,669	9,329	107.6	1.6	0.8
警察費	74,179	77,675	△ 3,496	△ 4.5	6.4	6.8
教育費	295,248	301,055	△ 5,807	△ 1.9	25.5	26.5
災害対策費	4,000	7,846	△ 3,846	△ 49.0	0.4	0.7
公債費	177,603	171,434	6,169	3.6	15.3	15.1
諸支出金	111,492	108,047	3,445	3.2	9.6	9.5
計	1,157,360	1,136,004	21,356	1.9	100.0	100.0

平成26年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成26年度	平成25年度
歳 出 総 額		1,180,200	1,139,100	41,100	3.6	100.0	100.0
義 務 的 経 費	人件費	358,800	364,300	△ 5,500	△ 1.5	30.4	32.0
	扶助費	93,791	88,057	5,734	6.5	8.0	7.7
	公債費	181,987	177,147	4,840	2.7	15.4	15.6
	災害復旧費	8,732	10,267	△ 1,535	△ 15.0	0.7	0.9
	計	643,310	639,771	3,539	0.6	54.5	56.2
税収関連法定経費		131,750	107,179	24,571	22.9	11.2	9.4
義 務 的 法 定 経 費 ・ 税 外 収 入 関 連	投資的経費	182,468	178,008	4,460	2.5	15.4	15.6
	うち 公共・直轄	93,807	93,036	771	0.8	7.9	8.1
	うち 単独	87,650	83,984	3,666	4.4	7.4	7.4
	その他の経費	222,672	214,142	8,530	4.0	18.9	18.8
	計	405,140	392,150	12,990	3.3	34.3	34.4

平成26年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成26年度 当初予算	平成25度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成26年度	平成25年度
議会費	2,022	2,020	2	0.1	0.2	0.2
経営管理費	30,219	34,023	△ 3,804	△ 11.2	2.6	3.0
企画広報費	8,554	8,366	188	2.2	0.7	0.7
くらし・環境費	8,332	9,018	△ 686	△ 7.6	0.7	0.8
文化・観光費	12,860	13,101	△ 241	△ 1.8	1.1	1.1
健康福祉費	216,308	201,716	14,592	7.2	18.3	17.7
経済産業費	40,952	39,928	1,024	2.6	3.5	3.5
交通基盤費	152,510	150,329	2,181	1.5	12.9	13.2
危機管理費	7,915	11,177	△ 3,262	△ 29.2	0.7	1.0
警察費	76,369	75,913	456	0.6	6.5	6.7
教育費	302,561	301,185	1,376	0.5	25.6	26.4
災害対策費	8,865	10,399	△ 1,534	△ 14.8	0.7	0.9
公債費	181,987	177,147	4,840	2.7	15.4	15.6
諸支出金	130,446	104,478	25,968	24.9	11.1	9.2
予備費	300	300	0	0.0	0.0	0.0
計	1,180,200	1,139,100	41,100	3.6	100.0	100.0

一般会計 歳出決算の推移

(単位: 億円・%)

区 分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
義務的経費	6,492	6,558	6,420	6,258	6,293	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,226	6,299	6,325	6,264	6,433
構成比	47.9	48.1	53.0	53.5	54.5	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	53.9	55.5	55.7	54.1	54.5
人件費	4,045	4,099	4,042	3,903	3,900	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,728	3,718	3,683	3,561	3,588
構成比	29.9	30.1	33.4	33.4	33.8	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	32.3	32.8	32.4	30.8	30.4
扶助費	546	591	609	537	568	564	626	659	686	724	774	810	851	888	938
構成比	4.0	4.3	5.0	4.6	4.9	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7	7.1	7.5	7.7	8.0
公債費	1,846	1,792	1,684	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,820
構成比	13.6	13.1	13.9	14.7	15.0	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	14.7	15.1	15.1	15.3	15.4
災害復旧費	55	76	85	91	90	83	37	37	34	10	27	56	77	39	87
構成比	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5	0.7	0.3	0.7
投資的経費	3,873	3,694	3,146	2,771	2,577	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,734	1,628	1,688	1,912	1,825
構成比	28.6	27.1	26.0	23.7	22.3	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	15.1	14.3	14.9	16.5	15.5
公共・直轄	1,994	1,909	1,748	1,495	1,373	1,195	1,114	1,006	897	892	920	903	935	1,024	938
構成比	14.7	14.0	14.5	12.8	11.9	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.0	8.0	8.3	8.9	8.0
単独等	1,879	1,785	1,398	1,276	1,204	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	814	725	753	887	887
構成比	13.9	13.1	11.5	10.9	10.4	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	7.1	6.4	6.6	7.7	7.5
その他	3,176	3,376	2,543	2,664	2,683	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,581	3,422	3,347	3,398	3,544
構成比	23.5	24.8	21.0	22.8	23.2	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	31.0	30.2	29.4	29.4	30.0
計	13,541	13,628	12,109	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,802
形式収支 (歳入 - 歳出)	174	168	127	163	119	114	121	104	95	106	144	148	168	230	—
実質収支	49	58	53	60	62	57	59	61	57	57	58	56	60	112 (62)	—

※平成26年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

※平成25年度の実質収支の()書きは、平成26年度予算に計上している寄附金のうち、平成25年度に受け入れた50億円を除いた額

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
義務的経費	6,527	6,594	6,446	6,275	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,351	6,345	6,285	6,433
構成比	48.2	48.3	55.2	54.0	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	55.1	54.2	54.4	54.5
人件費	4,063	4,115	4,060	3,914	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,734	3,722	3,575	3,588
構成比	30.0	30.1	34.8	33.7	34.7	34.8	34.8	34.7	33.9	30.7	32.3	32.4	31.8	31.0	30.4
扶助費	556	596	613	541	573	570	637	664	689	730	776	813	854	892	938
構成比	4.1	4.4	5.2	4.7	5.1	5.0	5.7	5.8	6.0	5.9	6.7	7.1	7.3	7.7	8.0
公債費	1,846	1,792	1,692	1,732	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,716	1,714	1,776	1,820
構成比	13.6	13.1	14.5	14.9	15.5	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	14.9	14.6	15.4	15.4
災害復旧費	62	91	81	88	113	64	15	56	15	17	38	88	55	42	87
構成比	0.5	0.7	0.7	0.8	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.8	0.5	0.4	0.7
税関関連法定経費	1,251	1,244	994	1,036	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135	1,112	1,155	1,318
構成比	9.2	9.1	8.2	8.9	10.2	10.0	10.4	11.1	9.6	9.5	9.8	9.8	9.5	10.0	11.2
投資的経費	3,769	3,646	3,008	2,682	2,535	2,273	2,207	2,098	2,045	2,036	1,684	1,685	1,966	1,791	1,825
構成比	27.8	26.6	25.8	23.1	22.5	20.2	19.5	18.3	17.9	16.5	14.5	14.6	16.8	15.5	15.5
公共・直轄	1,964	1,867	1,684	1,419	1,336	1,197	1,122	992	907	987	983	942	1,196	886	938
構成比	14.5	13.6	14.4	12.2	11.9	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	8.2	10.2	7.7	8.0
単独等	1,805	1,779	1,324	1,263	1,199	1,076	1,085	1,106	1,138	1,049	701	743	770	905	887
構成比	13.3	13.0	11.3	10.9	10.7	9.6	9.6	9.7	10.0	8.5	6.0	6.4	6.6	7.8	7.5
その他	1,981	2,188	1,598	1,684	1,601	1,652	1,751	1,781	2,017	2,915	2,531	2,352	2,289	2,313	2,226
構成比	14.8	16.0	13.7	14.5	14.2	14.7	15.5	15.6	16.4	23.7	21.8	20.4	19.5	20.0	18.8
計	13,528	13,672	12,046	11,677	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,523	11,712	11,544	11,802

※平成26年度は当初予算

平成25年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区 分	会計の概要	歳入	歳出	差引	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	384,003	384,003	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	4,917	4,917	0	—
市町振興助成事業	市町が実施する地震防災対策事業などに必要な資金の貸付	2,769	2,760	9	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	12,114	11,822	292	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による。
母子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金の貸付	647	610	37	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	658	658	0	—
就農支援資金	青年等の就農促進のための資金の貸付	505	380	125	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	340	76	264	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	194	96	98	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
中小企業振興資金	中小企業の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	8,319	4,226	4,093	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	5,802	5,617	185	清水港施設整備費等における執行残及び翌年度繰越による。
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	13,135	12,697	438	西遠、狩野川東部等の流域下水道における翌年度繰越による。
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,594	1,594	0	—
計		434,997	429,456	5,541	

平成25年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中枢を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	27,789	27,404	385	13,295
工業用水道事業	県下10市町の363事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静清、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	4,527	4,250	277	5,722
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	6,356	5,527	829	4,891
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	758	344	414	6,145
計		39,430	37,525	1,905	30,053

平成25年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				
		収入	企業債	支出	企業債償還金	収支差引
静岡がんセンター事業	器械備品購入ほか	1,989	1,638	4,809	2,941	△ 2,820
工業用水道事業	県下7工業用水道事業で、耐震補強工事、送水管布設替工事等を実施(富士川、静岡、中遠等)	611	468	2,732	1,010	△ 2,121
水道事業	県下3広域水道で送水管布設替工事等を実施(遠州水道等)	487	213	2,979	1,362	△ 2,492
地域振興整備事業	掛川大淵・沖之須太陽光発電施設用地の設計測量業務委託を実施	10	0	9	0	1
計		3,097	2,319	10,529	5,313	△ 7,432

地方公社の改革計画への取組

団体名		これまでの成果	行財政改革大綱 (平成26年3月策定)
静岡県地域整備センター	静岡県土地開発公社	◎ 事業規模に見合った定員管理に努めており、平成17年度から21年度までに職員10人を削減し13人体制とし、退職者分は嘱託員で対応 ◎ 平成24年度に策定した公社の目指すべき方向性を示した「将来ビジョン」について、有識者の意見等を取り入れて、毎年見直しを実施 ◎ 市町事業の受託拡大を図るため、市町に対する受託活動を実施	◎ 国、県の用地先行取得業務を確実に受託するとともに、受託先の拡大を図るため、市町への調査や働き掛けを継続して実施 ◎ 県からのあっせん事業の継続受託に努め、県と公社が一体となった効率的な用地取得体制を確立。なお、県からのあっせん事業の拡大について、平成26年度に検討
	静岡県道路公社	◎ 毎年度、事業規模に見合った組織編成を行い、効率化を図った。(職員数は22年度の41人から25年度の35人へと6人削減(約15%減)) ◎ 関東圏、中京圏等での誘客キャンペーン実施、旅行誌への広告掲載、伊豆スカイライン近郊の国道交差点における電光表示板による案内情報の提供、観光・宿泊施設等へのロードマップの配布などにより誘客を図った。 ◎ 毎年度点検評価を実施し、大綱に基づく見直し等について検証を受けた。	◎ 採算性を確保し、着実な償還を実施 ◎ 地域の交通の課題を解決するための伊豆中央道改築事業の実施や、標識等の多言語化、施設のバリアフリー化など、伊豆スカイライン及び箱根スカイラインを再整備 ◎ 企画割引の実施や、他の事業者とのイベント協力などにより地域振興に貢献
	静岡県住宅供給公社	◎ 重点課題ごとにプロジェクトチームを設置し、経営改善対策を検討・借上賃貸住宅の入居促進、割賦債権不良化防止 ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で正規職員数を21年度から25年度までに5人削減 ◎ 住宅管理業務を今後の主要事業として位置づけ、入居者のための生活支援事業の推進、住宅管理サービスの充実、市町の公営住宅の管理受託等を検討 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開	◎ 公営住宅の管理を継続する一方、住宅や宅地の新規供給事業等については、役割を終えた清算事業として縮小、整理 ◎ 増加が著しい高齢・外国人入居者に対する支援を積極的に推進 ◎ 外部委託を希望する市町の公営住宅管理を新たに受託し、住宅情報の一元管理により県民サービスを向上

地方公社の決算状況

(単位: 百万円)

区 分			静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社	
			平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
出資状況	出資団体数		1	1	16	15	4	4
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10
		その他団体出資額	-	-	1,897	22	5	5
		計	20	20	9,420	7,545	15	15
貸借対照表	資産	流動資産	7,759	5,373	4,645	6,574	2,785	2,535
		固定資産	2,185	2,290	35,067	28,751	7,984	6,255
		小計	9,944	7,663	39,712	35,325	10,769	8,790
	負債	流動負債	2,557	474	154	326	1,896	1,652
		固定負債	4,961	4,749	3,310	2,770	8,227	6,330
		特別法上の引当金等	-	-	20,189	18,063	-	-
		小計	7,518	5,223	23,653	21,159	10,123	7,982
	資本	資本金	20	20	9,420	7,545	15	15
		剰余金	-	-	6,639	6,621	-	-
		法定準備金等	2,406	2,420	-	-	631	793
		小計	2,426	2,440	16,059	14,166	646	808
	計		9,944	7,663	39,712	35,325	10,769	8,790
損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	6,167	5,147	2,208	2,212	3,190	2,968
		営業費用 (b)	6,156	5,159	2,622	5,444	3,041	2,847
		営業利益 (c=a-b)	11	△ 12	△ 414	△ 3,232	149	121
		営業外収益 (d)	47	42	389	3,254	20	11
		営業外費用 (e)	-	-	54	40	134	67
		経常利益 (f=c+d-e)	58	30	△ 79	△ 18	35	65
	特別利益 (g)		-	-	-	-	92	112
	特別損失 (h)		-	1	-	-	66	15
	当期損益 (i=f+g-h)		58	29	△ 79	△ 18	61	162

静岡県の外郭団体の経営状況

平成26年3月末現在

(単位: %、百万円)

○全団体の状況

形態	所管	出資割合50%以上				出資割合50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	平成25年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	平成25年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(公財) 静岡県産業振興財団	7,257 (100.0)	57.6	8,648	(公社) 静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	0.6	2,069
		(一財) 静岡県労働福祉事業協会	2,193 (100.0)	0.5	2,001	(公財) 静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	14.0	3,368
		(公財) 静岡県舞台芸術センター	1,320 (100.0)	164.5	1,641	(公社) 静岡県畜産協会	245 (40.5)	△ 2.9	277
		(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	1,023 (56.7)	△ 17.7	2,331	(公財) 静岡県腎臓バンク	150 (48.8)	△ 2.2	329
		(公財) 静岡県文化財団	900 (89.8)	44.3	1,177	(公財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.4)	1.3	109
		(公財) 静岡県国際交流協会	797 (86.8)	△ 1.4	968	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	△ 1.7	143
		(公財) 世界緑茶協会	393 (100.0)	2.1	396	(公財) 浜名湖総合環境財団	50 (24.3)	27.0	704
		(公財) しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	△ 7.8	362				
		(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	△ 0.2	106				
		(公社) 静岡県緑化推進協会	50 (67.0)	2.5	103				
		(公社) 静岡県農業振興公社	50 (50.0)	0.9	62				
		(公財) 静岡県下水道公社	8 (50.0)	0.2	21				
	公安委員会	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	0.3	888				
	教育委員会					(一財) 静岡県青少年会館	100 (40.0)	0.8	253
地方公社		静岡県道路公社	7,523 (99.7)	△ 18.4	14,166				
		静岡県土地開発公社	20 (100.0)	30.7	2,440				
		静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	64.9	808				
会社法人						天竜浜名湖鉄道(株)	250 (39.7)	△ 208.9	164
						(株)エイ・ピー・アイ	20 (39.0)	20.2	182
						富士山静岡空港(株)	101 (14.4)	193.7	1,026

※「外郭団体」とは、「県の出資割合が25%以上の法人」又は「県が出資し、職員を派遣をしている法人」

<参考>

地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	42.3	19,056
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	60.8	15,297
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	2,800.7	15,248

静岡県の外郭団体の経営状況

○平成25年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業の概要	H25経常収支	赤字の理由	今後収支改善の見通し
財団・ 社団 法人	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	・地域企業の経営基盤強化 ・産学官連携による異業種交流、販路開拓等	△ 17,678	解散した(財)静岡県西部地域地盤産業振興センターの事業の継続実施等による。	赤字要因である引継事業は、平成29年度に事業を終了するため、これにより経常収支の赤字は解消する。
	(公財) 静岡県国際交流協会	国際理解、交流、及び多文化共生の推進	△ 1,441	県など他機関からの受託事業の減	効率的な事業の実施・団体の運営、委託事業や民間助成の積極的な取込みにより、収益の改善を図る。
	(公財) しずおか健康長寿財団	高齢者をはじめとする県民の生きがいづくりと健康づくり	△ 7,766	・基本財産の運用益の減 ・会員管理システム老朽化によるシステム変更経費の増	基本財産の運用益の増加が見込めないため、事業の効率的な執行に努め、歳出のスリム化を図る。自主事業や財団の設置目的に沿った委託事業等を積極的に受託し財源の確保に努める。
	(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	障害者スポーツの振興	△ 224	パソコンの更新経費の増	自主財源の確保(会費収入の増)に努めるとともに、協会の業務・管理体制を把握し、収支の改善を図る。
	(公財) 静岡県畜産協会	家畜衛生、農家経営指導、肉用子牛及び肉用牛価格安定制度	△ 2,850	家畜共同育成場の修繕費の増	作業用機械等の日常点検を徹底することにより修繕費の削減を図るとともに、草地の簡易更新を行うことで飼料費の低減に努めるなど、収支の改善を図る。
	(公財) 静岡県腎臓バンク	・腎臓移植の普及促進事業 ・腎臓移植と腎臓病に関する知識の普及啓発事業	△ 2,221	平成22年度、23年度において公益目的事業が収入超過となったため、当該収入超過分を平成25年度の事業で支出したことによる。	的確な基本財産の運用・管理や事業の実施により適正な収支を維持していく。
	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	生活衛生関係営業者に対する指導	△ 1,735	手数料収入の減	クリーニング師並びに業務従事者講習の受講促進に努め手数料収益の増を図るとともに、経費の削減に努める。
地方 公社	静岡県道路公社	有料道路維持管理	△ 18,421	伊豆スカイライン及び箱根スカイラインにおける平成26年2月の大雪による除雪費の増及び通行止めに伴う収入の減	赤字要因は一時的なものであるが、各種誘客対策を実施し、利用台数の増加を図ると共に、引き続き効率的な事業執行や経費節減により黒字経営に努める。
会社 法人	天竜浜名湖鉄道(株)	地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営	△ 208,910	前年と比べて旅客収入は増加したが、軽油単価の上昇、老朽化した設備の更新の促進による費用の増	平成25年12月に策定した「天竜浜名湖鉄道中期経営計画(平成26～30年度)」に基づき計画的及び効率的に事業を進めるとともに、県と沿線市町、会社により設置した「天竜浜名湖線市町会議」において、新たな経営計画の進捗状況等について検証を行っていく。

財政の中期見通しと健全化への取組

1 財政の中期見通し

平成26年度当初予算策定時

(1) 試算の前提

- ① 経済成長率は、内閣府試算（平成26年1月「中長期の経済財政に関する試算」）に用いられた経済成長率（経済再生ケース）を前提とする。

（名目経済成長率）

（単位：％）

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度
経済再生ケース	3.4	3.8	3.4	3.5

- ② 地方財政は、三位一体の改革以降、一般財源総額（地方税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計額）が概ね同規模に固定されていることを踏まえ、一般財源総額が据え置かれるパターンを「ケース1」とし、また、本来の地方財政制度の機能が発揮されるパターン（義務的経費等の財政需要の増加が地方交付税に反映される場合）を「ケース2」として試算。
- ③ 消費税率の10％への引上げ（平成27年10月予定）は、現時点では未確定のため試算には反映していない。
- ④ 総合計画の次期基本計画「後期アクションプラン（仮称）」に基づいて実施する総合計画の「主な取組」を試算に反映

財政の中期見通しと健全化への取組

(2) 試算結果

平成26年度当初予算策定時

- 実質公債費比率、将来負担比率については、財政健全化法における**健全段階を維持**
- 県独自の健全化目標のうち、
 - ・ 県債残高(通常債)は、いずれのケースも**着実に減少し、目標の範囲内で推移**
 - ・ 経常収支比率は、ケース2(地方財政制度機能発揮)では、目標を上回っているものの徐々に改善していく見通しであるが、ケース1(一般財源総額据置)では、義務的経費の増加に伴い、**上昇傾向で推移**
- 財源不足額は、ケース2(地方財政制度機能発揮)では、中期的に解消の方向に向かう見込みだが、ケース1(一般財源総額据置)では、**420億円程度まで増加する見通し**

<参考：県独自の健全化の目標>

区 分	指標			国基準
	H23	H24	H25	
① 経常収支比率を90%以下へ	94.9%	94.2%	92.1%	—
② 実質公債費比率を18%未満に抑制	15.3%	15.0%	15.0%	18.0%
③ 県債残高(通常債)2兆円程度を上限	1兆8,643億円	1兆8,248億円	1兆7,934億円	—
④ 将来負担比率を400%未満に抑制	248.2%	241.1%	238.4%	400.0%

※H23, 24は決算、H25は年間見込

財政の中期見通しと健全化への取組

平成26年度当初予算策定時

<試算結果>

(単位:億円)

区分	項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
据一般 置財 パ源 ター ン総 額	経常収支比率	93.8%	94.8%	95.6%	96.2%	96.5%
	実質公債費比率	14.9%	15.1%	15.0%	14.9%	14.7%
	県債残高(通常債) 注1	17,388	16,799	16,179	15,525	14,881
	県債残高(全体) 注2	27,303	27,337	27,173	26,690	25,988
	将来負担比率	242.2%	242.2%	243.1%	239.2%	235.9%
	財源不足額	△ 324	△ 330	△ 370	△ 394	△ 421
機地 能方 発財 揮政 パ制 ター ン度	経常収支比率	93.8%	93.9%	93.9%	93.8%	93.3%
	実質公債費比率	14.9%	15.0%	14.8%	14.5%	14.2%
	県債残高(通常債) 注1	17,388	16,799	16,179	15,525	14,881
	県債残高(全体) 注2	27,303	27,337	27,173	26,690	25,988
	将来負担比率	242.2%	239.3%	237.6%	231.7%	226.3%
	財源不足額	△ 324	△ 258	△ 232	△ 200	△ 166

(注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外

2 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

財政の中期見通しと健全化への取組

2 健全化への取組

平成26年度当初予算策定時

(1) 新しい行財政改革大綱にを踏まえた財政健全化への積極的な取組

① 県債残高

(単位：億円)

区分	内容	25年度末	26年度末
通常債の残高	2兆円程度を上限としてコントロール ・H26-H25: △546億円	17,934	17,388

② 歳出のスリム化と歳入の確保(財源捻出への取組)

(単位：百万円)

区分		内容	25年度当初	26年度当初
歳出のスリム化	補助金・団体負担金の見直し	サンセット方式の導入 市町向け補助金の見直し 等	1,087	1,320
	事務事業の徹底した見直し	旅費等事務費節減 民間委託等の一層の活用 等	1,887	1,412
	その他	職員給与の見直し 退職手当の見直し 等	6,917	10,884
	小計		9,891	13,616
歳入の確保	県税収入の確保	市町との協働等による徴収体制の強化 等	2,913	208
	未利用財産の売却等	未利用県有地等の売却 公募による自動販売機の設置 等	1,568	2,155
	その他	資金運用の効率化 等	222	259
	小計		4,703	2,622
計			14,594	16,238

財政の中期見通しと健全化への取組

平成26年度当初予算策定時

(2) 翌年度以降の基金活用可能額の確保

(単位：億円)

区 分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
当初予算活用可能額 A	686	554	557	579	503	575	433	597	645	612	576
当初予算活用額（財源不足額） B	569	499	341	328	336	527	386	347	392	466	324
当初予算編成後 C=A-B	117	55	216	251	167	48	47	250	253	146	252
前年度決算後 D	155	137	250	296	183	78	92	320	313	234	—
翌年度活用可能額 E	543	546	554	480	570	433	597	645	612	576	—

(注) 当初予算活用可能額Aは、前年度の翌年度活用可能額Eに利子等を加算

3 課題と今後の対応

(1) 課題

- 26年度当初予算は、多額の財源不足が見込まれる下での編成となったが、県税収入の回復等により、「ふじのくにづくり推進基金」の積み増し(2月補正)や、将来に備えた基金活用可能額の確保など、「富国有徳の理想郷“ふじのくに”」の早期現実に向けた取組と、将来にわたる健全な財政基盤の確立に努めた。
- 一方で、想定される南海トラフ巨大地震から県民の生命・財産を守るための更なる地震・津波対策の実施や、高齢化の進行に伴う社会保障関係費などの増加も想定される。
また、消費税率の引上げに伴う景気の動向など、今後の税収の見通しにも留意する必要がある。
- 今後、「富国有徳の理想郷“ふじのくに”」の早期実現を目指すためには、
本県経済の持続的な成長を促し、
県内総生産や県民所得の向上を図る施策を積極的に実施する(県自らの取組)とともに、
地方が安定的に財政運営を行うことができる地方税財政の枠組を確立する(国への提言)
ことが不可欠である。

(2) 今後の対応

平成26年度当初予算策定時

①県自らの取組

○ 総合計画の次期基本計画「後期アクションプラン(仮称)」に基づいた取組

(1) 「内陸のフロンティア」を拓く取組による防災・減災と地域成長の両立

⇒ 「内陸フロンティア推進区域」を中心とした企業立地の促進 ほか

(2) 地域経済を牽引する新たな成長産業の創出

⇒ 産業界と連携した産業成長戦略に基づく取組の推進 ほか

(3) 人口減少社会へ挑戦し、次世代を担う子どもや経済活動を担う人材の育成

⇒ 出生率の向上につながる取組の推進、就業環境の整備、高等教育機能の充実 ほか

○ 新しい行財政改革大綱に基づいた取組

(1) 歳出のスリム化

事業のスクラップアンドビルドの徹底、ファシリティマネジメントに基づく県有施設の長寿命化 ほか

(2) 歳入の確保

地方税徴収対策強化、ネーミングライツなどの経営的視点による県有施設の活用 ほか

②国への提言

○ 地方分権改革の着実な実行

- ・ 真の地域自立を実現するための地方分権改革の実現
- ・ 「国と地方の協議の場」等における地方の意見の適切な反映

○ 将来にわたって安心な財政運営の確立

- ・ 社会保障・税の一体改革の着実な実施など、国・地方を通じた中長期的に安定的な税財政の枠組の構築
- ・ 行政サービスを安定的に提供するために必要な一般財源総額の確保
- ・ 臨時財政対策債の廃止と償還財源の確実な確保

財政の中期見通しと健全化への取組

「財政の中期見通し」の前提条件

平成26年度当初予算策定時

○ 経済成長率：内閣府試算（平成26年1月「中長期の経済財政に関する試算」）で用いられた名目経済成長率を使用

⇒ 経済再生ケース H27:3.4%、H28:3.8%、H29:3.4%、H30:3.5%

○ 推計方法

区 分		考え方
歳 出	人件費	増減員分、退職手当分は推計額 退職手当支給水準引下げを加味（H26以降：H25比△5.43%）
	扶助費	通常分 → 年平均伸び率2.8%（H22～24決算平均伸び率） 後期高齢者医療分・介護保険分・障害者自立支援分→推計額
	公債費	既発行分 → 積上げ 今後発行分 → 利率は、国の試算（2.1%～3.3%）
	災害復旧費	26年度当初と同額
	税収関連法定経費	原則として税収の伸びに連動
	公共・直轄	公共・直轄分 → 前年×1.0+積上げ
	単独	単独（通常分） → 前年×1.0 単独（主要事業） → 積上げ
	その他の経費	原則として26年度当初と同額 選挙経費は実施年度の推計額
	（再掲） 総合計画の反映	後期アクションプランに示した4年間（H26～29）の主な取組を試算に反映
歳 入	県税	名目経済成長率×弾性値（1.1）+税制改正影響分（～26年度税制改正分）
	地方消費税清算金	地方消費税に連動
	地方譲与税	名目経済成長率×弾性値（1.1）
	地方特例交付金	26年度当初と同額
	地方交付税 +臨時財政対策債	ケース1：26年度当初同額±税増減収分 ※一般財源総額を同額で固定し、税収増減等の25%相当分は算定から除外 ケース2：ケース1+義務的経費の増分を反映
	国庫支出金	原則として歳出に連動
	県債	原則として歳出に連動
	その他の歳入	原則として、26年度当初と同額 分担金・負担金 → 投資的経費に連動

財政の中期見通しと健全化への取組

財政の中期見通し ＜ケース１＞一般財源総額据置パターン

平成26年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 27年度 3.4% 28年度 3.8% 29年度 3.4% 30年度 3.5%

△印減額(単位:億円)

区 分		25年度	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額
歳 出	義務的経費	6,398	6,433	35	6,490	57	6,518	28	6,599	81	6,641	42
	人件費	3,643	3,588	△ 55	3,597	9	3,557	△ 40	3,535	△ 22	3,500	△ 35
	うち退職手当	329	308	△ 21	339	31	331	△ 8	340	9	346	6
	扶助費	881	938	57	966	28	990	24	1,015	25	1,040	25
	公債費	1,771	1,820	49	1,840	20	1,884	44	1,962	78	2,014	52
	うち通常債分	1,475	1,474	△ 1	1,436	△ 38	1,399	△ 37	1,387	△ 12	1,380	△ 7
	うち臨時財政対策債分	266	318	52	368	50	454	86	540	86	598	58
	災害復旧費	103	87	△ 16	87	0	87	0	87	0	87	0
	税関関連法定経費	1,072	1,318	246	1,875	557	1,997	122	2,069	72	2,147	78
	義務的経費・税関関連経費以外	3,921	4,051	130	3,709	△ 342	3,784	75	3,595	△ 189	3,494	△ 101
	投資的経費	1,770	1,815	45	1,596	△ 219	1,637	41	1,519	△ 118	1,445	△ 74
	公共・直轄	930	938	8	918	△ 20	964	46	952	△ 12	951	△ 1
	単独	840	877	37	678	△ 199	673	△ 5	567	△ 106	494	△ 73
	その他の経費	2,151	2,236	85	2,113	△ 123	2,147	34	2,076	△ 71	2,049	△ 27
歳 入	合 計 A	11,391	11,802	411	12,074	272	12,299	225	12,263	△ 36	12,282	19
	(再掲)※ 総合計画の「主な取組」	1,370	2,140		2,000		1,950		1,760		—	
	県税	4,040	4,320	280	4,859	539	5,174	315	5,369	195	5,576	207
	うち法人事業税	778	878	100	1,006	128	1,166	160	1,209	43	1,256	47
	地方消費税清算金	731	944	213	1,431	487	1,533	102	1,590	57	1,651	61
	地方譲与税	543	650	107	570	△ 80	490	△ 80	509	19	528	19
	うち地方法人特別譲与税	515	622	107	541	△ 81	460	△ 81	477	17	496	19
	地方交付税	2,766	2,645	△ 121	2,295	△ 350	2,116	△ 179	1,963	△ 153	1,799	△ 164
	うち臨時財政対策債	1,360	1,200	△ 160	850	△ 350	671	△ 179	518	△ 153	354	△ 164
	地方特例交付金	16	15	△ 1	15	0	15	0	15	0	15	0
	国庫支出金	1,327	1,338	11	1,314	△ 24	1,346	32	1,304	△ 42	1,299	△ 5
	県債	580	672	92	611	△ 61	620	9	508	△ 112	469	△ 39
	その他の歳入	922	894	△ 28	649	△ 245	635	△ 14	611	△ 24	524	△ 87
	合 計 B	10,925	11,478	553	11,744	266	11,929	185	11,869	△ 60	11,861	△ 8

※ 新しい総合計画基本計画に示した4年間の具体的取組のうち「主な取組」(再掲)、H25の指標は年間見込ベース

財政の中期見通しと健全化への取組

財政の中期見通し ＜ケース 2＞地方財政制度機能発揮パターン

平成26年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 27年度 3.4% 28年度 3.8% 29年度 3.4% 30年度 3.5%

△印減額(単位:億円)

区 分		25年度 当初	26年度 前年度 増減額	27年度 前年度 増減額	28年度 前年度 増減額	29年度 前年度 増減額	30年度 前年度 増減額
歳 出	義務的経費	6,398	6,433 35	6,490 57	6,518 28	6,599 81	6,641 42
	人件費	3,643	3,588 △ 55	3,597 9	3,557 △ 40	3,535 △ 22	3,500 △ 35
	うち退職手当	329	308 △ 21	339 31	331 △ 8	340 9	346 6
	扶助費	881	938 57	966 28	990 24	1,015 25	1,040 25
	公債費	1,771	1,820 49	1,840 20	1,884 44	1,962 78	2,014 52
	うち通常債分	1,475	1,474 △ 1	1,436 △ 38	1,399 △ 37	1,387 △ 12	1,380 △ 7
	うち臨時財政対策債分	266	318 52	368 50	454 86	540 86	598 58
	災害復旧費	103	87 △ 16	87 0	87 0	87 0	87 0
	税関関連法定経費	1,072	1,318 246	1,875 557	1,997 122	2,069 72	2,147 78
	義務的経費・税関関連経費以外	3,921	4,051 130	3,709 △ 342	3,784 75	3,595 △ 189	3,494 △ 101
	投資的経費	1,770	1,815 45	1,596 △ 219	1,637 41	1,519 △ 118	1,445 △ 74
	公共・直轄	930	938 8	918 △ 20	964 46	952 △ 12	951 △ 1
	単独	840	877 37	678 △ 199	673 △ 5	567 △ 106	494 △ 73
	その他の経費	2,151	2,236 85	2,113 △ 123	2,147 34	2,076 △ 71	2,049 △ 27
合 計 A		11,391	11,802 411	12,074 272	12,299 225	12,263 △ 36	12,282 19
(再掲)※ 総合計画の「主な取組」		1,370	2,140	2,000	1,950	1,760	—
歳 入	県税	4,040	4,320 280	4,859 539	5,174 315	5,369 195	5,576 207
	うち法人事業税	778	878 100	1,006 128	1,166 160	1,209 43	1,256 47
	地方消費税清算金	731	944 213	1,431 487	1,533 102	1,590 57	1,651 61
	地方譲与税	543	650 107	570 △ 80	490 △ 80	509 19	528 19
	うち地方法人特別譲与税	515	622 107	541 △ 81	460 △ 81	477 17	496 19
	地方交付税	2,766	2,645 △ 121	2,367 △ 278	2,254 △ 113	2,157 △ 97	2,054 △ 103
	うち臨時財政対策債	1,360	1,200 △ 160	850 △ 350	671 △ 179	518 △ 153	354 △ 164
	地方特例交付金	16	15 △ 1	15 0	15 0	15 0	15 0
	国庫支出金	1,327	1,338 11	1,314 △ 24	1,346 32	1,304 △ 42	1,299 △ 5
	県債	580	672 92	611 △ 61	620 9	508 △ 112	469 △ 39
	その他の歳入	922	894 △ 28	649 △ 245	635 △ 14	611 △ 24	524 △ 87
合 計 B		10,925	11,478 553	11,816 338	12,067 251	12,063 △ 4	12,116 53

※ 新しい総合計画基本計画に示した4年間の具体的取組のうち「主な取組」(再掲)、H25の指標は年間見込ベース

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位: %)

区 分		平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度
財 政 力 指 数	本県	63.3	62.8	62.4	63.7	65.3	69.6	72.9	76.6	75.6	71.5	67.8	66.7	68.4
	全国	40.5	40.6	40.8	41.1	42.8	46.4	49.7	52.1	51.6	49.0	46.5	45.5	49.4
	順位	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7
経 常 収 支 比	本県	90.4	93.2	87.3	91.9	90.9	90.8	93.6	92.5	93.3	89.7	94.9	94.2	92.9
	全国	88.9	91.5	89.1	92.4	92.8	93.6	96.7	95.3	95.2	90.9	93.9	94.1	
	順位	31	31	15	21	10	4	5	7	9	17	32	25	
実 質 赤 字 比	本県	-	-	-	-	-	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連 結 実 質 赤 字 比	本県	-	-	-	-	-	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 公 債 費 率 比	本県	-	-	-	-	12.9	12.4	11.6	11.7	13.1	14.3	15.3	15.0	14.9
	全国	-	-	-	-	14.5	14.4	14.0	13.9	14.4	14.8	15.1	14.8	
	順位	-	-	-	-	14	10	9	10	16	20	24	25	
将 来 負 担 率 比	本県	-	-	-	-	-	-	247.3	248.1	262.6	251.8	248.2	241.1	239.1
	全国	-	-	-	-	-	-	235.1	234.8	235.6	218.7	214.9	208.4	
	順位	-	-	-	-	-	-	30	28	32	36	35	35	

(参考)

起 債 制 限 率 比	本県	13.4	13.2	12.8	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全国	12.6	12.6	12.5	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	29	28	27	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした

※指数及び比率の全国の数値は、単純平均の数値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注3)を対象とした実質赤字額(注4)の標準財政規模に対する割合

(注3) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注4) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注5)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注5) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、

第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

【起債制限比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、地方債元利償還金に充当された一般財源の標準財政規模等(注6)に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注6) 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を

加算した額である標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えた額

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位: %)

区 分		平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度
自 主 財 源 比 率	本県	63.0	59.7	47.6	47.4	49.8	49.5	49.7
	全国	58.8	56.8	49.1	49.9	48.1	49.3	
	順位	8	9	12	11	10	10	
地 方 税 比 率	本県	53.3	50.7	37.8	37.8	38.0	38.7	39.1
	全国	43.1	41.7	32.4	31.8	30.2	31.6	
	順位	6	5	6	6	5	6	
法 人 税 比 率	本県	19.4	17.7	7.5	7.8	8.1	8.4	9.0
	全国	14.1	13.0	6.6	6.0	5.8	6.3	
	順位	5	5	7	4	5	5	

※平成21年度に地方法人特別税が創設され、地方税の一部が国税化したため比率が減少

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税＋地方消費税清算金＋分担金及び負担金＋使用料及び手数料＋財産収入＋寄附金＋繰入金＋純繰越金(前年度実質収支)＋諸収入]／歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

平成24年度 静岡県の財務諸表

平成21年度財務諸表から、総務省が平成19年10月に公表した「新地方公会計制度実務研究報告書」における「基準モデル」に従って、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表を作成しています。

	総務省方式改訂モデル (H19・20決算)	基準モデル (H21決算～)
固定資産の 算定方法 (初年度期首残高)	○売却可能資産： 売却可能価格	○現存する固定資産をすべて リストアップし、公正価値 により評価
固定資産の 算定方法 (継続作成時)	○売却可能資産以外： 過去の建設事業費の積み 上げにより算定 ⇒段階的に固定資産情報 を整備	○発生主義的な財務会計 データから固定資産情報を 作成
固定資産の 範囲	○当初は建設事業費の範囲 ⇒段階的に拡張し、立 木、物品、地上権、ソフト ウェアなどを含める	○すべての固定資産を網羅
台帳整備	○段階的整備を想定 ⇒売却可能資産、土地を 優先	○開始貸借対照表作成時に 整備、その後継続的に更新
財務諸表の 検証可能性	○台帳の段階的整備等によ り、検証可能性を高めるこ とは可能	○開始時未分析残高を除 き、財務諸表の数値から元 帳、伝票に遡って検証可能

基準モデル移行への対応

- すべての固定資産をリストアップ
 - ・ 地上権、ソフトウェア等を追加
 - ・ 国道や河川等の国有財産を除外
- 所有する全資産について、公正価値評価に基づく価額により計上
- 個々の取引情報を発生主義により複式記帳して財務諸表を作成

平成24年度 財務諸表から見る静岡県の財政運営

★財務諸表の前年度比較により、平成24年度の静岡県の財政運営を検証しました。

「貸借対照表」上の動き

- ＜資産＞（△1,604億円）
- 「基金」の増加（＋246億円）
 - 「インフラ資産」の増加（＋131億円）
 - 「事業用資産」の減少（△1,917億円）
- ＜負債＞（＋947億円）
- 「地方債」の増加（＋1,074億円）
（内訳）臨時財政対策債（＋1,172億円）
その他の地方債（△98億円）

「行政コスト計算書」上の動き

- ＜経常費用＞
- 「人件費」の減少（△93億円）
- ＜経常収益＞
- 「業務関連収益」の減少（△52億円）
- ＜純経常費用＞
- 「純経常費用」は減少（△28億円）

静岡県の財政運営の状況

- 24年度は前年度に引き続き、緊急的な防災対策等を中心とした基盤整備を実施したため、貸借対照表上の「インフラ資産」は増加しました。一方、「事業用資産」は3年に一度の土地の評価替えによる減少（△598億円）や、土地評価額の精度向上のため、土地単価の算定基礎を「路線価」から、土地ごとの「個別評価」に変更したことによる減少（△1,194億円）等により大きく減少しています。なお、土地の評価替え等の影響（△1,792億円）を除くと、資産総額は188億円増加しています。
- 臨時財政対策債の増加に伴い、「地方債」は増加していますが、その償還に備えるための県債管理基金の積み増しや、津波対策施設等整備基金の造成に伴い「基金」は増加しています。
- 退職手当支給率の引き下げ等により、「人件費」など行政コストの抑制に努めた結果、税収等により負担することとなる「純経常費用」は減少しています。

平成24年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

貸借対照表

◆翌年度の期末・勤労手当の内、当年度発生分を計上

（単位：億円）

借 方				貸 方			
	24年度	23年度	24-23増減		24年度	23年度	24-23増減
【資産の部】				【負債の部】			
1 金融資産	7,063	6,881	182	1 流動負債	1,403	1,226	177
(1) 資金	269	241	28	(1) 賞与引当金	202	203	△ 1
(2) 債権	784	874	△ 90	(2) 預り金	53	51	2
税等未収金	151	175	△ 24	(3) 翌年度償還予定地方債	1,132	956	176
未収金	10	11	△ 1	(うち臨時財政対策債)	140	87	53
貸付金	670	732	△ 62	(4) その他の流動負債	16	16	0
貸倒引当金	△ 47	△ 44	△ 3	2 非流動負債	32,244	31,474	770
(3) 投資等	6,010	5,766	244	(1) 地方債	28,504	27,606	898
出資金	1,345	1,347	△ 2	(うち臨時財政対策債)	7,706	6,587	1,119
基金	4,665	4,419	246	(2) 退職給付引当金	3,610	3,724	△ 114
2 非金融資産	33,885	35,671	△ 1,786	(3) 損失補償等引当金	18	16	2
(1) 事業用資産	10,744	12,661	△ 1,917	(4) その他の非流動負債	112	128	△ 16
有形固定資産	10,716	12,629	△ 1,913	負債合計	33,647	32,700	947
(うち売却可能資産)	113	100	13	【純資産の部】			
無形固定資産	28	32	△ 4	財源	△ 3,332	△ 2,395	△ 937
(2) インフラ資産	23,141	23,010	131	資産形成充当財源	3,466	4,194	△ 728
公共用財産用地	8,183	8,130	53	その他の純資産	7,167	8,053	△ 886
公共用財産施設等	14,958	14,880	78	純資産合計	7,301	9,852	△ 2,551
資産合計	40,948	42,552	△ 1,604	負債・純資産合計	40,948	42,552	△ 1,604

◆県税や使用料などの未収金を計上

◆債権の内、回収が困難と見込まれる金額を過去の実績等から算定して控除

◆庁舎・県立高等学校・県営住宅など、将来的に資金流入が見込まれる資産を計上

◆県道・橋りょう、空港など、将来的に行政サービスを提供し、資金流入が見込まれない資産を計上

◆地方債残高は、翌年度償還予定分を流動負債に、それ以外を非流動負債に計上

◆全職員が年度末に退職すると仮定した場合に必要な金額を計上

★貸借対照表では、主に県が保有している「資産」と、将来世代が負担する「負債」の状況が確認できます。

平成24年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

◆経常的に必要な費用を、人にかかるコスト、物にかかるコスト、県債の支払利息などに分類して計上

行政コスト計算書

（単位：億円）

区 分	24年度	構成比	23年度	24-23増減	区 分	24年度	費用比	23年度	24-23増減
1 経常業務費用	5,409	61.1%	5,512	△ 103	業務収益(使用料等)	258	2.9%	254	4
①人件費	3,634	41.0%	3,727	△ 93	業務関連収益(受取利息等)	199	2.3%	251	△ 52
職員給料	2,480	28.0%	2,499	△ 19					
退職給付費用等	1,154	13.0%	1,228	△ 74	経常収益 B	457	5.2%	505	△ 48
②物件費	523	5.9%	535	△ 12					
消耗品費・維持補修費等	263	3.0%	282	△ 19					
減価償却費	260	2.9%	253	7					
③経費	315	3.6%	345	△ 30					
委託費	179	2.0%	206	△ 27					
貸倒引当金繰入等	136	1.6%	139	△ 3					
④業務関連費用	937	10.6%	905	32					
公債費(利払分)	424	4.8%	392	32					
その他	513	5.8%	513	0					
2 移転支出	3,439	38.9%	3,412	27					
①他会計等への支出等	32	0.4%	26	6					
②補助金等移転支出	3,267	36.9%	3,238	29					
③その他移転支出	140	1.6%	148	△ 8					
経常費用 A	8,848	100.0%	8,924	△ 76	純経常費用 A-B	8,391		8,419	△ 28

◆補助金や社会保障関係経費など、対価性のない支出を計上

◆経常費用から経常収益を差し引いた額が、税金などの財源で賄われる金額になる

★行政コスト計算書では、主に県が行政サービスを行うために必要な「経常費用」と、サービスの対価として受益者が負担する使用料などによる「経常収益」、その差額である「純経常費用」が確認できます。

平成24年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

資金収支計算書

（単位：億円）

区 分	金 額
I 経常的収支	670
1 経常的支出	8,275
2 経常的収入	8,945
II 資本的収支	△ 1,295
1 資本的支出	2,337
2 資本的収入	1,042
III 財務的収支	653
1 財務的支出	2,780
2 財務的収入	3,433
当期資金収支額	28
期首資金残高	241
期末資金残高	269

◆人件費・物件費・補助金支出などの支出と、県税・地方交付税などの収入による収支を計上

◆基金や貸付金の出入りなどの収支を計上

◆地方債の発行や償還などによる収支を計上

★資金収支計算書では、1年間の現金の動きと年度末の残高（期末資金残高）を確認できます。

純資産変動計算書

（単位：億円）

区 分	金 額
前期末残高	9,852
I 財源変動の部	△ 938
1 財源の使途	△ 11,299
2 財源の調達	10,361
II 資産形成充当財源変動の部	△ 728
1 固定資産の変動	874
2 長期金融資産の変動	195
3 評価・換算差額等の変動	△ 1,797
III その他の純資産の変動の部	△ 885
1 開始時未分析残高	△ 795
2 その他純資産の変動	△ 90
当期変動額合計	△ 2,551
当期末残高	7,301

◆純経常費用や資産形成に係る支出（財源の使途）と、税収、国庫補助金などの収入（財源の調達）を計上

◆資産の増減や評価損益を計上

★純資産変動計算書では、1年間の純資産の動きと年度末の残高（当期末残高）を確認できます。

純資産は、資産形成のためにこれまでの世代が負担してきたものですので、それがどれだけ増減したか分かります。

*ここに掲載している財務諸表は、要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したものとなっています。

平成24年度 静岡県の財務諸表（連結財務諸表）

静岡県の連結財務諸表は、公営企業会計・公社・県が25%以上出資している法人等を連結対象として作成しています。

【貸借対照表】

（単位：億円）

資産の部	金額	負債の部	金額
1 金融資産	7,305	1 流動負債	1,817
(1)資金	861	(1)未払金及び未払費用	116
(2)債権	761	(2)前受金及び前受収益	4
税等未収金	151	(3)賞与引当金	219
未収金	163	(4)翌年度償還予定地方債	1,333
貸付金・その他	499	(5)その他	145
貸倒引当金	△ 52		
(3)有価証券	281	2 非流動負債	34,562
(4)投資等	5,402	(1)地方債	30,121
出資金	435	(2)借入金	172
基金	4,666	(3)退職給付引当金	3,778
その他	301	(4)その他の引当金	122
2 非金融資産	40,860	(5)その他	369
(1)事業用資産	13,215		
有形固定資産	13,063	負債合計	36,379
無形固定資産・棚卸資産	152	純資産の部	金額
(2)インフラ資産	27,645		
公共用財産用地	8,657	純資産合計	11,786
公共用財産施設	18,220		
その他	768		
資産合計	48,165	負債及び純資産合計	48,165

【純資産変動計算書】

（単位：億円）

区分	金額
前期末残高	14,741
Ⅰ 財源変動の部	△ 1,092
Ⅱ 資産形成充当財源の部	△ 899
Ⅲ その他の純資産の変動の部	△ 964
当期末残高	11,786

【資金収支計算書】

（単位：億円）

区分	金額
1 経常収支	822
2 資本的収支	△ 1,405
3 財務的収支	477
当期資金収支	△ 106
期首資金残高	967
期末資金残高	861

【行政コスト計算書】

（単位：億円）

	金額
1 経常業務費用	6,565
①人件費	3,995
職員給料	2,739
賞与引当金繰入	210
退職給付費用	237
その他	809
②物件費	1,096
消耗品費	140
維持補修費	253
減価償却費	374
その他	329
③経費	468
業務費	37
委託費	269
貸倒引当金繰入	4
その他	158
④業務関連費用	1,006
公債費（利払分）	474
借入金支払利息・その他	532
2 移転支出	3,197
経常費用 A	9,762
業務収益	1,088
業務関連収益	245
経常収益 B	1,333
純経常費用 A－B	8,429

※ここに掲載している財務諸表は要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したものと なっています。

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区 分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
一般会計(A)	18,790	19,692	20,519	21,184	21,283	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,685	25,317	26,048	26,650	27,282
通常債	18,790	19,521	19,930	19,858	19,508	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,100	18,643	18,248	17,741	17,367
通常債以外	0	171	589	1,326	1,775	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,585	6,674	7,800	8,909	9,915
特別会計(B)	1,337	1,302	1,286	1,208	1,446	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,124	1,074	1,059	970	969
県営住宅事業	0	0	0	0	299	281	262	247	242	220	213	199	195	193	196
母子寡婦福祉資金	14	15	17	19	19	20	21	21	22	23	25	28	29	30	31
就農支援資金	5	4	3	2	4	4	6	5	6	8	9	10	10	12	12
中小企業振興資金	601	555	498	407	357	307	254	309	287	274	260	236	220	194	175
清水港等港湾整備事業	293	304	350	368	364	361	347	294	289	262	260	251	263	263	271
流域下水道事業	409	409	409	403	395	392	385	376	371	361	357	350	342	278	284
林業改善	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	13	13	9	9	8	8	7	7	7	5	0	0	0	0	0
企業会計(C)	1,024	1,286	1,378	1,342	1,278	1,217	1,235	1,202	1,218	851	822	794	763	733	719
県立病院事業	198	192	234	243	247	256	327	347	379	0	0	0	0	0	0
がんセンター事業	119	404	516	519	508	519	487	452	443	469	466	457	445	432	431
工業用水道事業	183	189	186	182	178	172	165	157	149	141	133	125	117	111	108
水道事業	276	272	263	256	256	254	256	246	247	241	223	212	201	190	180
地域振興整備事業	248	229	179	142	89	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(A+B+C)	21,151	22,280	23,183	23,734	24,007	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,631	27,185	27,870	28,353	28,970

※県債残高の平成25年度以前は決算額、平成26年度は当初予算額

※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債

※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置

※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上。

※就農支援資金は、平成22年度までは農業改良資金

県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位:千円)

区 分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度
本県	515.7	538.0	557.8	572.5	581.7	583.2	583.7	590.7	606.5	635.1	660.9	679.7	702.0	724.1
全国平均	550.7	566.5	588.6	610.2	624.0	622.2	622.4	626.4	631.3	651.6	675.1	683.0	696.6	—
順位	14	14	14	15	15	15	15	15	16	16	16	15	14	—

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政5基金の年度末残高の推移

(単位: 億円)

区 分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
財政調整基金	4	84	84	128	125	116	106	32	88	88	89	89	89	89	69
県債管理基金	1,382	1,588	1,643	1,846	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,897	3,319	3,670	3,863	3,883
うち一般会計分	664	645	522	545	491	454	462	421	454	331	520	558	553	481	197
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
土地開発基金	121	123	124	126	87	78	70	61	57	57	57	57	57	57	38
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合 計	1,529	1,817	1,873	2,122	2,196	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	3,065	3,487	3,838	4,031	4,012
うち一般会計分	811	874	752	821	725	670	660	536	621	498	688	726	721	649	326

※残高の平成25年度以前は決算ベース、平成26年度は見込額

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、

各基金より大規模地震災害対策基金に繰入れることが可能であることを条例において規定

減債基金への積立ての状況

積立ルール

県債発行額の3.7%(27分の1)を3年据え置き後、
毎年積み立て

(単位: 億円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
満期一括分残高(実償還ベース)	15,846	17,470	19,110	20,198	21,709	23,603	24,205	27,275	28,519	29,914
公募公債	10,380	11,860	13,124	14,374	16,937	18,474	19,883	22,583	24,289	26,100
銀行等引受債	5,466	5,610	5,986	5,824	4,772	5,129	4,322	4,692	4,230	3,814
積立残高	1,641	1,832	2,109	2,155	2,080	2,372	2,754	3,114	3,380	3,676

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
歳入 A	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804
県債	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989
通常分 B	945	890	1,096	1,437	1,531	679	731	792	705
臨時財政対策債	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284
財源不足額 C	87	45	158	4	156	30	40	35	101
差引 D(A-B-C)	10,294	10,407	10,174	9,994	10,459	10,976	10,727	10,701	10,998
歳出 E	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574
公債費 F	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776
差引 G(E-F)	9,561	9,642	9,736	9,732	10,362	9,844	9,634	9,646	9,798
プライマリーバランス H(D-G)	733	765	438	262	97	1,132	1,093	1,055	1,200

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政5基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

1.発行額の推移

(単位:億円)

区 分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
個別発行	5年債	200	200	200	200	600	400	400	300	800	500	400	600	300	400
	10年債	680	500	700	600	800	1,000	900	800	900	1,300	1,100	700	800	1,200
	15年債											100	200	200	300
	20年定時													100	300
	20年債					200	300	200	400	300	200	300	400	200	100
	30年債							200	200	200	200	200	100	300	300
	合 計	680	700	900	800	1,000	1,800	1,600	1,600	1,800	2,600	2,000	1,700	2,100	2,700
共同発行					400	600	600	600	600	600	800	600	600	600	600
総 計		680	700	900	1,200	1,600	2,400	2,200	2,400	3,200	2,800	2,300	2,700	2,900	3,300

※平成26年度は、10月までの発行額＋今後発行予定額

2.発行条件の推移

(1)5年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
25年度	4月 100億円	0.163%	100円	0.163%	3.0bp	0.133%
	8月 100億円	0.342%	100円	0.342%	3.0bp	0.312%
	3月 100億円	0.204%	100円	0.204%	2.5bp	0.179%
26年度	4月 100億円	0.224%	100円	0.224%	3.0bp	0.194%
	6月 100億円	0.209%	100円	0.209%	2.0bp	0.189%
	8月 100億円	0.163%	100円	0.163%	2.5bp	0.138%

(2)10年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
25年度	4月 200億円	0.581%	100円	0.581%	2.5bp	0.556%
	5月 200億円	0.600%	100円	0.600%	3.0bp	0.570%
	6月 200億円	0.882%	100円	0.882%	2.0bp	0.862%
	7月 100億円	0.926%	100円	0.926%	3.5bp	0.891%
	9月 100億円	0.801%	100円	0.801%	4.0bp	0.761%
	10月 100億円	0.699%	100円	0.699%	4.5bp	0.654%
	11月 100億円	0.679%	100円	0.679%	7.0bp	0.609%
	3月 200億円	0.669%	100円	0.669%	6.0bp	0.609%
26年度	4月 100億円	0.694%	100円	0.694%	6.5bp	0.629%
	5月 100億円	0.679%	100円	0.679%	7.0bp	0.609%
	7月 200億円	0.610%	100円	0.610%	5.0bp	0.560%
	8月 100億円	0.566%	100円	0.566%	5.0bp	0.516%
	9月 100億円	0.564%	100円	0.564%	3.0bp	0.534%
	10月 100億円	0.554%	100円	0.554%	3.0bp	0.524%

(3)15年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
25年度	100億円	1.338%	100円	1.338%	1.5bp	1.323%
	100億円	1.087%	100円	1.087%	5.5bp	1.032%
26年度	200億円	1.062%	100円	1.062%	3.0bp	1.032%
	100億円	0.966%	100円	0.966%	2.5bp	0.941%

(4)20年定時償還債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
平成25年度	100億円	0.971%	100.00円	0.971%	-	-
平成26年度	100億円	0.778%	100.00円	0.778%	-	-
	200億円	0.654%	100.00円	0.654%	-	-

(5)20年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
平成20年度	200億円	2.35%	100.00円	2.350%	11.0bp	2.240%
	200億円	2.32%	99.95円	2.323%	18.0bp	2.143%
平成21年度	200億円	2.243%	100.00円	2.243%	10.0bp	2.143%
	100億円	2.227%	100.00円	2.227%	8.0bp	2.147%
平成22年度	100億円	2.072%	100.00円	2.072%	6.0bp	2.012%
	100億円	1.841%	100.00円	1.841%	11.0bp	1.731%
平成23年度	100億円	2.003%	100.00円	2.003%	9.0bp	1.913%
	200億円	1.777%	100.00円	1.777%	7.0bp	1.707%
平成24年度	200億円	1.736%	100.00円	1.736%	7.0bp	1.666%
	200億円	1.701%	100.00円	1.701%	5.0bp	1.651%
平成25年度	100億円	1.720%	100.00円	1.720%	5.0bp	1.670%
	100億円	1.604%	100.00円	1.604%	6.5bp	1.539%
平成26年度	100億円	1.473%	100.00円	1.473%	4.5bp	1.428%

(6)30年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
平成20年度	200億円	2.541%	99.97円	2.541%	27.0bp	2.271%
平成21年度	200億円	2.381%	100.00円	2.381%	14.0bp	2.241%
平成22年度	200億円	2.198%	100.00円	2.198%	19.0bp	2.008%
平成23年度	200億円	2.108%	100.00円	2.108%	15.0bp	1.958%
平成24年度	100億円	2.092%	100.00円	2.092%	18.0bp	1.912%
平成25年度	300億円	1.988%	100.00円	1.988%	16.0bp	1.828%
平成26年度	300億円	1.862%	100.00円	1.862%	15.0bp	1.712%

お問い合わせ：静岡県 経営管理部 財政課

メールアドレス：zaisei@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県IRサイト：

<http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>

TEL：054-221-2036 FAX：054-221-2750